

SSH だより

vol.2

令和4年8月4日発行

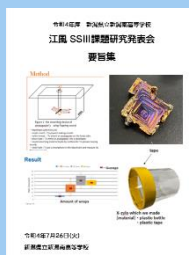
夏休みの始まりと共に SSH 事業も加速

3年理数コース 課題研究の集大成を発表



第1部 口頭発表後の質疑応答(視聴覚教室)

令和4年7月26日(火)午後、本校の視聴覚教室をメイン会場、図書館2階をサブ会場として「江風 SSH 課題研究発表会」を実施しました。スライドを用いた口頭発表(3年)とポスターセッション(2～3年)の2部制となっており、第1部の口頭発表は、対面とオンラインのハイブリッドで行いました。本校理数コース1～3年生と普通コース2年生の江風グローバル研修参加者は対面で参加し、東海大学付属高輪台高校と山形県立東桜学館高校の代表班にはオンラインでご参加いただきました。原則日本語での発表でしたが、化学2班は「ビスマス酸晶の陽極酸化」について英語で発表しました。



要旨集



第2部 ポスターセッション(第1体育館)

本校ではこれまで、研究成果を伝える媒体としてポスターを重視してきましたが、今回は、理数コース3年の全班がスライドを用いた口頭発表も行いました。スライド発表とポスター発表の両方の準備をするのは大変だったのですが、昨年度の江風グローバル研修で身につけたプレゼンテーションスキルとICT機器の活用能力を生かして、堂々と発表していました。発表後は、質問が次々に飛び交い、南高生のたくましさを感じられました。各班、昨年11月の中間発表の時よりも研究の深まりを見てとることができ、1年半に渡る研究の集大成となりました。

第2部のポスターセッションでは、1回の発表は3分と短かったのですが、3年生と2年生が肩を並べて発表し、1年生は先輩の説明に熱心に耳を傾けていました。3年生の研究発表は以上で終了となり、2年生はこれから研究活動が本格化していきます。

シンガポールの学生とのオンライン交流に向けて準備をスタート

終業式が終わり、いよいよ夏休みが始まった7月25日(月)の放課後、江風グローバル研修(シンガポール)に参加する1年生27名がLL教室に集まり、オンライン交流に向けて、GoogleドライブやGoogleスライドについてiPadを操作しながら体験的に学びました。今後はグループプレゼンテーションに向けて、各班で準備を進めていきます。

